

(活動報告書様式)

団体名	山形県民踊協会		
事業名	みんなで踊ろう！山形の民謡踊り		
助成事業区分	【県政課題： 民俗芸能や文化財等を通じた地域の文化継承の活動の促進】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	565,401 円
		うち助成金額	450,000 円



■ 事業目的

当団体では全国の民踊（民謡舞踊）分野の振興等を目的としているが、会員の大半が高齢であり、さらに過疎化や少子高齢化等により、民踊を地域の子もたちに継承していく機会が減少している状況にある。学校教育での民踊を伝える機会も減少していく中、現代に生きる子供や親に知ってもらい、触れる機会を設けたいと考えている。民踊とは英語で「ジャパニーズフォークダンス」＝日本の踊りであることに誇りを持ち、生まれ育った故郷への愛着にも繋げていきたい。

■ 実施内容

【開催場所】 県内2エリア
山形市／山形市総合福祉センター、山形市北部公民館
酒田市／酒田市総合文化センター
全4回の講座（90分：座学、実演、練習含む）を開講
終了後、2地域合同での「山形テルサホール」にて合同発表会

【参加者数】

山形会場 親子11組（17名）
酒田会場 親子5組（13名）

【練習演目】

山形）・山形盆唄（盆踊り）
・紅花摘み唄（作業唄）
酒田）・庄内おぼこ（作業唄）
・出羽三山音頭（盆踊り）

【講座日】

山形・酒田会場共に、全4回の講座を日曜日に開催

【講座名】

- ①『山形の民踊ってなーに？』
 - ②『民踊を踊ってみよう①振付について』
 - ③『民踊を踊ってみよう②歌詞について』 事前収録による映像を放送した
 - ④『着物を着てみよう～着付けの先生から着付けを習おう～』
 - ⑤『合同発表会』
- ※コロナの状況で参加できなかった方向けに、協会 YouTube にてフォローアップ講座配信した。

■ 事業の成果及び今後の展望

本事業を実施する体験教室において、子どもたちが地域に伝わる民踊の由来や衣装の着付けを体験し、子どもたちが地域に対して興味や誇りを持つとともに今後の地域活性化につながることを期待できる。また、親子で体験することで、悩んだり喜んだりを共有することでスキシップを築くことができた。

今後の展望として、今回の教室で体験したことを大勢の前で披露することで、自らの成長を実感でき、他の活動への意欲醸成も期待できる。コロナ禍で私達も参加者の皆さんも思うように動けなかったが、この事業で得たノウハウを活かし、今後も親子教室の開催をしたい。

また、今回習得した民踊以外にも、伝え手がいなくなり地域に埋もれてしまった他の民踊について、今の世代の人たちに伝える活動もしていきたい。